

11月度 例会 個人 山行報告書		報告者	濱本正志	参加 メンバー	CL:山田 明、SL 天野 広、津田 廣一、町田 修、 濱本 正志
山 域	中央アルプス	報告日	12/11		
山 名	空木岳	山行日	2013年11月08日(金)～ 11月10日(日)		

山行目的	紅葉山行、冬山合宿の偵察	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5万分の1地図:

11/08 (晴れ)	前泊	※アイゼン装着 6:50 1本(10分)
11/09 (晴れ)	4:30 起床 6:07 駐車場 発 6:35 林道終点(5分) 7:30 1本(10分) 8:00 水場:池山小屋手前 9:05 マセナギ(5分) ※下山時方向注意 10:05 迷い尾根(5分) 10:50 景色よし(15分) ※A隊と合流 12:08 山頂への分岐(5分) ※A隊と再合流 12:32 空木平避難小屋着 12:50 空木平避難小屋発 13:45 駒峰ヒュッテ(20分) ※アイゼン装着 14:05 空木岳山頂(10分) 15:00 空木平避難小屋着	※アイゼン外し 7:35 ストック収納・ ヘルメット装着(5分) (7:50)鎖場下りきった所道迷 ※下山時要注意 8:08 ストック出して、 ヘルメット収納(5分) 9:10 水場;池山小屋付近(5分) 10:20 駐車場 着
11/10 (曇りのち雨)	4:30 起床 6:00 小屋 発 6:15 山頂分岐(15分)	

〈山行報告〉一日目: 登山口まで移動。天候による難易度の変化に合わせチームを再編成し、出発。23時過ぎ登山口付近の駐車場に両チーム到着。テント設営中に空を見ると満点の星空。山頂は雪で、三日目は雨とのことであったが、二日目の山頂までの天候に期待しながら、小宴会後に就寝した。

二日目: 4時半起床。朝食と身支度をして6時頃出発。期待通り快晴で駐車場から登山口までの林道から見える木々は綺麗に紅葉していた。出発時は寒かったが、林道終点までの登りで暑くなり上着を脱ぐ。1時間半ほど登ると、水場で水があふれ出ていた。休憩後1時間ほど登り、鎖場などがあり、本格登山が初めての濱本はチームが見守る中、這いつくばりながらクリア。展望の良い場所につき、南アルプスへの眺望を楽しんでいると、後ろから話し声が聞こえてきたので、もしや?と待っているとAチームがまさかの後から到着。ここで一緒に写真を撮る。お互いの安全を思いながら、それぞれ再出発。この先から紅葉でなく雪が徐々に増えていった。12時半に空木平非難小屋に到着。ドアを開けると空室。広く綺麗で、夜の宴会が楽しみ。小屋横の水場はトイレに近く衛生的?といった様子。冬山合宿は別手段を要検討。翌日の天候懸念からそこから山頂アタックすることに。必要装備のみ持って出発。雪は十数センチほど、駒峰ヒュッテを經由し、14時頃山頂に到着。ヒュッテも山頂からも眺望はよく御嶽、乗鞍岳を見ることができた。積雪が凍結し、風も強くなってきたのでアイゼンを着け下山。1時間程で避難小屋に戻りドアを開けると空室のまま貸切が決定。夕食は天野さん初挑戦のポテトサラダが好評。塩で味付けすれば完璧と今回の楽しみに。夕食後は小屋が広くて逆に寒かったので就寝。小屋内のテント設営は構造的に困難だった。

三日目: 4時半起床。朝食の煮麺で体を温めた後、天候を気にしながら朝焼け雲海を横目に出発。8時頃、岩場を過ぎた辺りから霰まじりの雨が降り出し、下山したところには本降りに。駐車場に戻ったところにはずぶ濡れ。こまくさの湯に移動し入浴。初冬の雨で冷えた体には特に嬉しかった。入浴後、Aチームの無事を確認し帰路へ着いた。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



空木岳頂上にて (山田撮影)

確認
(リーダー)
山
13/12/03
田
作成
(報告者)
濱
2013.11.18
本

〈リーダー所見〉 下山日は雨となったが、頂上までは天候に恵まれたため、予定通り行動出来た。冬山合宿に向けた偵察も、テン場候補、難所(小地獄、大地獄)、ザイルを出す箇所(小地獄上部のトラバース)、間違い易い箇所を確認出来たので、偵察登山の目的を果たすことが出来た。冬山合宿に反映して行きたい。新人の濱本君には、アイゼン歩行等の雪山トレーニングが出来たので有意義な山行となった。